

令和6年度評価規準

学校名：江戸川区立一之江第二小学校

教科	図画工作		学年	第2学年	
----	------	--	----	------	--

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
すきなことなあに	絵	2	遊んだこと、友達や家族としたこと、好きなことをしている自分を描く。	知 好きなことの形や色を工夫して描く。	知 絵に表すことを通して、形や色などに気づいている。 技 表現したいことをもとに、形や色、表し方を工夫して表している。	自分が好きなことを絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	クレヨン、バス、画用紙、色画用紙など
				思 描きたい場面を考える。	発 経験をもとに表したいことを見つけ、形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。 鑑 自分や友達の作品の表したいことや表し方などについて、感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を広げている。		
				☆ 学 好きなことを思い浮かべながら描くことをたのしむ。	主 自分が好きなことを絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
こんにちはむぎゅたん	立	2	「むぎゅたん」という想像の生き物を粘土で立体に表す。	知 ひねったりつまんだりして形を工夫する。	知 手で粘土の塊へ働きかけることを通して、粘土の形などに気づいている。 技 粘土の塊をひねる、つまむ、穴を開けるなど、手や体全体の感覺を働かせながら、表し方を工夫して表している。	粘土の塊からひねったり、つまんだり、伸はしたり、穴を開けたりする操作を通して、思いついた形を変えながら表したい想像の生き物を見つけて、どのように表すか考えている。	土粘土、粘土ペラ、粘土板、タオルなど
				思 粘土の形を変えながら、想した生き物を考える。	発 粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形をもとに、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 鑑 粘土の塊をひねったりつまんだりしてできた形のよさや面白さ、表し方などについて感じ取って、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 粘土の触り心地を感じながらつくることをたのしむ。	主 自分らしい「むぎゅたん」を表すことに関心をもち、粘土に積極的に働きかけながら立体に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
クレヨン、バスでらんらんランド	絵	4	クレヨンやバスでぼかしたりひっかいたりして、感じたことや思いついたことを絵に表す。	☆ 知 クレヨンやバスの表し方を工夫する。	知 ほかしたり引っかいたりするなどのいろいろな表し方からクレヨンやバスで表す形や色に気づいている。 技 いろいろな表し方を試したり組み合わせたりしながら、表し方を工夫して表現している。	クレヨンやバスのいろいろな表し方を積極的に試すことを通して、そこから生まれる形や色の美しさ、面白さに気づくとともに、表したいことに応じて表し方を選んだり、それらを組み合わせたりするなど、工夫して表している。	クレヨン、バス、画用紙など
				思 こすってぼかしたり引っかいたりして描きたいものを考える。	発 クレヨンやバスをぼかしたり引っかいたりした形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 鑑 クレヨンやバスをぼかしたり引っかいたりした形や色のよさや楽しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 ぼかしたり引っかいたりして描く絵をたのしむ。	主 クレヨンやバスをぼかすことや引っかいたりすることで絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
さらさらどころどろ	遊	2	土の触り心地を味わいながら活動する。	知 砂や土を掘ったり丸めたり並べたりする。	知 自分の感覚や行為を通して、砂や土の形や色などに気づいている。 技 砂や土に十分に慣れ、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や全体の感覚などを働かせ、活動を工夫してつくっている。	砂や土の触り心地を存分に味わい、並べる、つなげる、積む、描る、水を流すなど、体全体の感覚を働かせ、友達と協力しながら学習活動にたのしく取り組もうとしている。	砂や土、水、バケツ、タオルなど
				思 砂や土でどんなことができるか考える。	発 砂や土の形や色などをもとに、造形的な活動を思いつき、感覚や気持ちを生かしながら、どのように活動するか考えている。 鑑 砂や土の造形的な面白さやたのしさについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				☆ 学 砂や土の触り心地をたのしむ。	主 砂や土の触り心地を味わい、砂や土で表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
おはながみかさねてすかして	工	4	お花紙をちぎって重ねて貼り、光を通すと美しい飾りをつくる。	知 お花紙の並べ方や重ね方を工夫する。	知 作品づくりやできた作品を飾ることを通して、触った感じや、重なったお花紙の形や色などに気づいている。 技 お花紙を並べ方や重ね方をいろいろ試すなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。	お花紙の形や色、触り心地をもとに、いろいろな並べ方や重ね方を積極的に試しながら表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	お花紙、洗濯のり、ビニール袋、ビニールシート、タオル、ペットボトルなど
				思 並べたり重ねたりしたお花紙から、好きな感じを考える。	発 お花紙を並べたり重ねたりしたときの形や色、触った感じなどをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。 鑑 お花紙の手触りや変化を感じ取ったり自分や友達の表し方を見たりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 お花紙の手触りや変化をたのしむ。	主 お花紙の触り心地や変化を味わいながら、飾りをつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
つんでならべてびっくりしタワー	立	2	粘土を積んだり並べたりしながら、つくりたいものをつくる。	知 粘土の積み方や並べ方を工夫する。	知 見たことがない形の「びっくりしタワー」をつくることを通して、粘土の形などに気づいている。 技 粘土に十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことをもとに粘土の積み方や並べ方を工夫して表している。	粘土の重さや感触を味わいながら、粘土を積んだり並べたりして形を変えて、見たことがない形をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。	土粘土、粘土ペラ、タオルなど
				思 積んだり並べたりした形から、つくりたいものを考える。	発 粘土を積んだり並べたりしながら、感じたことや想像したことから自分がつくりたい形を考えている。 鑑 互いの作品の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				☆ 学 粘土を積んだり並べたりして、つくることをたのしむ。	主 粘土の重さや感触を味わいながら、粘土を積んだり並べたりして形を変えて、つくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
ならべて見つけていろいろ色水	遊	2	色水をつくりながら思いついた活動をする。	知 色水のつくり方や並べ方を工夫する。	知 色水をつくり並べたりすることを通して、混ぜたときや並べたときの形や色に気づいている。 技 いろいろな色の色水をつくり、好きな容器に入れて並べたりするなど、活動を工夫してつくっている。	つくった色水の色や容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、自分なりにどのように活動するか考えている。	共通の具、インク、水、透明容器、ビニール袋など
				思 色水をつくりながら、どんなことができるか考える。	発 つくった色水の色や容器の形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。 鑑 自分で友達の活動の面白さやたのしさ、表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 色水をつくり並べたりすることをたのしむ。	主 色水をつくり並べたりすることに関心をもち、形や色などに気づいて表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。		
			紙コップや	知 紙コップや紙づつの形や鶴のつくり方を工夫する。	知 紙コップや紙づつの組み合わせを考えながら、形や色などに気づいている。 技 手や体全体の感覚を働かせながら、自分の表したい二人組の表し方を工夫して表している。	仲良しの二人組を意欲的につくったり、友達と交流したりする学習活動にたのしく取り組もうとしている。	紙コップ、紙づつ、色紙、色画用紙、接着剤、のり、カラーペン、

ふたりはなかよし	立	2	紙つつを組み合わせて、二人組をつくる。	思	どんな二人組にするか考える。	発	紙コップや紙づつの形や色などをもとに、自分のつくりたい二人組を思いつき、どのように表すか考えている。	はさみなど
						鑑	自分や友達の二人組の形や色などについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
どうぶつさんといっしょ	絵	4	見たり遊んだりした動物を思い出して絵に表す。	☆ 知	描きたい場面になるよう、形や色を工夫する。	知	動物との関わりを思い出して、動物やそのまわりの形や色に気づいている。	動物の形や色、触った感じ、まわりの風景などをよく思い出して、動物やそのまわりの形や色に気づくとともに、表したい場面になるように描き方を工夫して表している。
					技	表したいことをもとに描き方を工夫して表している。		
				思	描きたい場面やそのときの気持ちを考える。	発	動物を見たり触れ合ったりしたときに感じたことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑	自分や友達の表したいことや表し方に着目して、よさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
ジャンプ！キャッチ！紙けん玉	工	4	仕組みを生かした紙けん玉をつくって遊ぶ。	☆ 知	紙けん玉の形や色、つくり方を工夫する。	知	紙けん玉をつくり、遊ぶことを通して、けん玉の形や色に気づいている。	紙けん玉をつくり、遊ぶことを通して、けん玉の形や色に気づくとともに、すきな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造を考えたりするなど、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
					技	すきな材料を選んでけん玉を飾ったり、面白い構造やたのしい遊び方を考えたりするなど、表したいことをもとに表し方を自分なりに工夫して表している。		
				思	仕組みからつくりたい紙けん玉を考える。	発	仕組みをもとにつくりたいけん玉を思いつき、どのように表すか考えている。	
					鑑	友達と作品で遊び合い、よさや表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学	紙けん玉をつくったり、遊んだりするところをたのしむ。	主	けん玉をつくって遊ぶ学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
えのぐじま	絵	2	筆をのびのびと動かして描きたい「えのぐじま」を描く。	知	筆をのびや色の組み合わせを工夫する。	知	筆をのびのびと動かして描くことを通して「えのぐじま」の形や色などに気づいている。	絵の具を筆で塗る心地よさを体全体で十分に味わいながら、絵に表す学習活動にたのしく活動に取り組もうとしている。
					技	筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら表し方を工夫して表している。		
				思	描きたいえのぐじまを考える。	発	「えのぐじま」などの言葉や絵の具の感触から表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑	絵の具で描かれた形や色などのよさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				☆ 学	絵の具と筆でのびのびと描くことをたのむ。	主	絵の具を筆で塗る心地よさを味わいながら、絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
どんどんかわるよ新聞紙	遊	2	体全体を使って、新聞紙で活動する。	知	新聞紙のねじり方、裂き方などを工夫する。	知	新聞紙に働きかけることを通して、変化する形などに気づいている。	新聞紙に働きかけることを通して、変化した感じなどをもとにさまざまな形的な活動を思いつめ、どのように活動するか考えている。
					技	新聞紙を折ったり、ねじったり、裂いたりなど、手や体全体の感覚を働かせながら、活動を工夫してつくっている。		
				思	新聞紙をねじったり裂いたりしながら、どんなことができるかを考える。	発	新聞紙に働きかけることを通して、変化した感じなどをもとに活動を思いつき、どのように活動するか考えている。	
					鑑	さまざまに変化した新聞紙の感じや表現などの面白さやたのしさを味わい、自分の見方や考え方を広げている。		
				学	新聞紙の手触りなどを感じながら、変化させることをたのむ。	主	新聞紙の触り心地を味わい、手や体全体で新聞紙に働きかけて変化させる学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
ぎゅっとしたい！わたしの「お友だち」	工	4	紙をもんで柔らかくした紙から、つくりたい「お友だち」をつくる。	☆ 知	紙の形や色、材料の使い方を工夫する。	知	紙をもんで柔らかくして「お友だち」をつくることを通して、紙の形や色などに気づいている。	もんでも柔らかくした紙の形や色、感触などの感じに気づくとともに、手や体全体の感覚を働かせ、自分の表したい「お友だち」の形や色、材料の使い方を工夫して表している。
					技	手や体全体の感覚を働かせ、紙を柔らかくして自分の表したい「お友だち」の表し方を工夫して表している。		
				思	柔らかくした紙から、つくりたい「お友だち」を考える。	発	柔らかくなかった紙の袋の形や色から自分の表したい「お友だち」を思いつき、形や色などどのように表すか考えている。	
					鑑	「お友だち」の形や色、感触などについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学	「お友だち」をつくることをたのむ。	主	自分の「お友だち」をつくる学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
えのぐひっぱれインボーラー	絵	4	厚紙や段ボールの切れ端などで道具の具のぼし、できた模様から絵に表す。	知	絵の具ののぼし方を工夫する。	知	自分の感覚やへらを引く行為を通して、形や色などに気づいている。	色を選んだり、厚紙の引き方を工夫したりして、つくりだす喜びを味わい、絵の具ののぼし方を試しながら表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。
					技	絵の具の色を選んだり、厚紙を動かす勢いや向きなどをいろいろ試したりするなど、表し方を工夫して表している。		
				思	のぼした絵の具の形や色から表したいことを考える。	発	厚紙でのぼした絵の具の形や色から表したいことをを見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑	自分が友達の作品の面白さやたのしさ、表したいことなどについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				☆ 学	絵の具をのぼして描くことをたのむ。	主	つくりだす喜びを味わい、絵の具をのぼして絵に表す学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
コップくるくるチェンジ	工	4	紙コップに透明なコップを重ねて回転することで絵が変化する仕組みから、表したいものを作つくる。	☆ 知	紙の動かし方や、つくり方を工夫する。	知	紙コップと透明なコップを動かす仕組みから、変化する絵や、色などに気づいている。	紙コップと透明なコップを動かす仕組みから、変化する絵や、色などに気づくとともに、カラーペンの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。
					技	仕組みを試しながら、カラーペンの扱いに慣れ、表したいことをもとに表し方を工夫して表している。		
				思	重ねて回すことで絵が変化する仕組みから、表したいことを考える。	発	仕組みから表したいことをを見つけ、どのように表すか考えている。	
					鑑	自分や友達の作品を動かしたり見たりしながら、いろいろな表し方の面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学	つくりて動かす活動をたのむ。	主	仕組みに興味をもち、表し方を考えながら、つくりて動かす学習活動にたのしく取り組もうとしている。	
たからもののがたり	鑑	2	宝物が大切な理由を考えて、友達に伝える。	知	宝物の形や色などに気づく。	知	身近にあるものを集めることを通して、その形や色などに気づいている。	身近なもので遊ぶ活動を通して、自分や友達の作品の造形的な面白さやたのしさ、見方や感じ方の違いを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
					技	自分の気持ちをカードに工夫して表している。		
				☆ 思	大切な宝物についている理由を考える。	発	身近なものにある思い出などから自分のイメージをもっている。	
					鑑	身近にあるものの造形的な面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		

			学	宝物を見て、話し合ふ活動をしたのしむ。	主	身近にあるものに觸り、鑑賞する學習活動にたのしく取り組もうとしている。		
しそんから のおりもの の	遊	2	自然の材料 を集め、つ ないだり組 み合わせた りして活動 する。	知	物の形や色など、組み合わせる工夫する。	知	自然の材料を集め、並べたり組み合わせたりすることを通して、材料の形や色などに気づいている。	自然の材料、 ひも、紙の粘 着テープなど
					物の形や色から、どんなことができるかを考える。	技	自然の材料を並べたり組み合わせたりするなど、手や体全体の感覺を働きかせて、活動を工夫してつくっている。	
				思	物の形や色から、どんなことができるかを考える。	発	自然の材料の形や色、触った感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。	
				☆ 学	自然の材料でたのしく活動する。	鑑	活動によって表れた造形的な面白さやたのしさから、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆ 学	自然の材料でたのしく活動する。	主	自然の材料の形や色に開心をもち、思いついたことを表す學習活動にたのしく取り組もうとしている。	
わくわく カッターナイフ	工	2	カッターナイフを使 ついろいろな線を切る活 動をする。	☆ 知	カッターナイフの使い方に慣れる。	知	カッターナイフで紙を切ることを通して、切ってできた形や色に気づいている。	色画用紙、ホ ーチキス、接着 剤、カッタ ーナイフ、カッ ターマットなど
					カッターナイフの使い方に慣れる。	技	安全で正しいカッターナイフの使い方に慣れ、いろいろな線で切ることを試し、工夫して表している。	
				思	切ってできた形から、つくりたいのを考える。	発	カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
				☆ 学	紙を切るたのしさを味わう。	鑑	形や色などをもとに、作品のよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
まどのある たるもの	工	6	色画用紙や 色造形紙を カッターナイ フで切つて窓を開 けるなどして、建 物をつくる。	知	建物の形や、窓の開け方を工夫する。	知	カッターナイフで紙を切って窓や扉のある建物をつくることを通して、建物や窓や扉の形や色などに気づいている。	面用紙、色画 用紙、接着 剤、カッタ ーナイフ、カッ ターマットなど
					どんな形に切りかえたたり、どんな建 物にするか考 えたりする。	技	カッターナイフの使い方に慣れ、表したいことをもとに、建物や窓や扉の開け方を工夫して表している。	
				☆ 思	カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	発	カッターナイフで切った紙の形をもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
				☆ 鑑	自分や友達の作品を見せ合い、その面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑	自分や友達の作品を見せ合い、その面白さやたのしさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆ 学	カッターナイフで紙を切つてつくることをあたのしむ。	主	カッターナイフで紙を切る快さを味わい、カッターナイフで紙を切って表す學習活動にたのしく取り組もうとしている。	
あなでつな がる二つの 世界	絵	6	画用紙に穴を開けて、つながる二つの世界を絵に表す。	知	穴を生かした絵の描き方を工夫する。	知	穴でつながる二つの世界を描くことを通して、そこに生まれる形や色に気づいている。	穴でつながる二つの世界を豊かに想像し、表したいことを見つけ、どのように表すか自分なりにどのように紙を切って表すか考えている。
					穴を生かした絵の描き方を工夫する。	技	穴の位置や開け方を工夫したり、描きたい二つの世界の表し方を工夫したりして表している。	
				☆ 思	表と裏の二つの世界を考える。	発	穴でつながる二つの世界を想像し、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	
				☆ 鑑	二つの世界を行き来しながら自分や友達の作品を鑑賞し、そのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑	二つの世界を行き来しながら自分や友達の作品を鑑賞し、そのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆ 学	友達との作品を見せてたのしむ。	主	自分や友達の作品のよさを味わい、穴でつながる二つの世界を描く學習活動にたのしく取り組もうとしている。	
たくさんう つそうわたしの形	絵・版	4	型紙をつ くって並べ 方や重なり 方などを工 夫して版画 に表す。	☆ 知	繰り返しや重 なりなど、写 し方を工夫す る。	知	版を写す活動を通して、写るもののがやに気づいている。	版を写す活動を通して、写るもののがやに気づくとともに、自分で考えた形をたくさん写しながら、版の並べ方や重ね方、写す位置を試しながら、工夫して表している。
					繰り返しや重 なりなど、写 し方を工夫す る。	技	版の並べ方や重ね方、写す位置を試しながら、表し方を工夫して表している。	
				思	写し方を試し ながら、表し たいことを考 える。	発	たくさんあつたら面白い形を考え、造形的な面白さやたのしさを感じながら、どのように表すか考えている。	
				☆ 鑑	自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑	自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆ 学	型紙版画で写 すことをたの む。	主	型紙版画の表現に開心をもち、版で表す學習活動にたのしく取り組もうとしている。	
まごころメ ダルをプレ ゼント	工	4	紙粘土でメ ダルをつ くって、気 持ちを伝え る。	知	気持ちが伝わ るようにメダ ルの形や色を工 夫する。	知	紙粘土の形押したりして絵の具で着彩したりすることを通して、紙粘土の形や色などに気づいている。	贈る人の好きなものや、その人に開わることを積極的に作品に取り入れて、メダルをつくることを通して、気持ちを伝える學習活動にたのしく取り組もうとしている。
					気持ちが伝わ るようにメダ ルの形や色を工 夫する。	技	紙粘土や絵の具の使い方に慣れ、表し方を工夫して表している。	
				思	贈る人のことを 思い浮かべてメ ダルを考 える。	発	贈る人のことを思い浮かべてメダルをイメージし、どのように表すか考えている。	
				☆ 鑑	メダルで気持 ちを伝えるこ とをたのむ。	鑑	自分や友達の作品のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	
				☆ 学	メダルをつくることを通して、気持ちを伝える學習活動にたのしく取り組もうとしている。	主	メダルをつくることを通して、気持ちを伝える學習活動にたのしく取り組もうとしている。	
かぶってへ んしん	工	6	お花紙を重 ねて貼り、張 り子のお面 をつくって遊 ぶ。	知	形や色、紙の 貼り方を工夫 する。	知	お面をつくりたり、かぶつたりすることを通して、お花紙でつくるお面の形や色などに気づいてる。	積極的にお面をつくりたりかる活動に関わり、お面をつくることやかぶることの喜びを味わうとともに、お面をつくりかぶつたりする楽しみを味わうとともに、お面をつくることやかぶつたりする楽しみを味わうとしている。
					形や色、紙の 貼り方を工夫 する。	技	お花紙や身边な材料などの使い方に十分に慣れるとともに、紙の貼り方を工夫して表している。	
				思	つくりたいお 面を考える。	発	なりたいもののイメージを広げて、好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら、どのように表すか考えている。	
				☆ 鑑	お面をつくることやかぶることを通して、造形的な面白さやたのしさを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑	お面をつくることやかぶることの喜びを味わうとともに、お面をつくることやかぶつたりする楽しみを味わうとしている。	
				☆ 学	お面をつくることやかぶつたりしてたのむ。	主	お面をつくることやかぶつたりしてたのむ。	